

千歳工場環境安全方針

一般社団法人 日本血液製剤機構 千歳工場（以下「千歳工場」という）は、基本理念「善意と医療のかけ橋」に基づき、以下のとおり千歳工場環境安全方針を定める。

《理 念》

千歳工場は、人びとの健康に貢献する血漿分画製剤製造施設としての社会的責任を認識し、千歳工場のすべての事業活動において環境保護に取り組むとともに、従業員の労働安全衛生の向上、火災や災害への備え（防災）に努めることにより、皆様から広く支持される施設を目指します。

《方 針》

1. 環境安全に関するマネジメントシステムの構築を行い、千歳工場の事業活動によって生じる影響を調査・検討し、技術的、経済的に達成可能なリスクを低減する目標を定め、継続的改善に努めます。
2. 千歳工場のすべての事業活動において、次の項目を重点に置いて継続的に取り組みます。

環境管理	(1) 地球温暖化対策のCO2排出削減等推進 (2) 排ガス・廃液の削減及び化学物質漏洩による環境汚染防止 (3) 省エネルギー・省資源の推進 (4) 廃棄物の適正処理・削減及びリサイクルの推進 (5) 自然環境保護及び地域連携
労働安全衛生	(1) 労働災害ゼロの追求 (2) 安全衛生教育の推進 (3) 心身の健康づくりの推進 (4) 快適な職場づくりの推進
防災活動	(1) 設備点検の励行 (2) 防火防災教育、訓練の推進
3. 環境安全に関わる法規制遵守はもとより、社内外で取り決めた管理基準に基づいた活動を推進します。
4. 千歳工場の事業活動に必要な資源（設備、原材料、部品等）は、技術的、経済的要求を満たし、併せて環境負荷が小さく、地域住民、従業員への影響が少ないものを選択します。
5. 地域社会の環境・防災活動に参画し、積極的に協力するとともに、事故・災害などの不測の事態に備え対策を講じ、その影響を最小限にとどめます。
6. 千歳工場の全従業員に環境安全方針の理解と意識の向上を図るため計画的に教育訓練を行います。また、関連会社へも周知して協力を要請します。
7. この環境安全方針は一般の人々に開示し、社会とのコミュニケーションを深めます。

2017年 4月 1日

一般社団法人 日本血液製剤機構

千歳工場長 **長谷 伸一郎**